

「徳島大学国際センター」
発足記念式典を実施

12月4日、徳島県、(財)徳島県国際交流協会を始めとした国際交流団体、大学関係者、本学との関連企業などが出席するなか、「国際センター」発足記念式典を実施しました。

平成14年4月に文部科学省の省令施設として設置された「留学生センター」がこれまでに実施してきた、日本語教育を中心とした留学生教育、生活相談と生活指導、



日本人学生の海外留学支援の業務(新組織では「教育・支援部門」で実施する)に、「交流部門」と「文書・広報室」を加え、新しく「国際センター」を設置しました。

「交流部門」の役割は海外拠点校の活用、外国人研究者の招聘の推進、学生の国際交流プログラムの実施、卒業生ネットワークの構築など、これまで手薄であった事業を充実させることを目指します。また、人材としては、これまでの留学生センター所属の教員のほか、各学部からの協力教員、それに海外との交渉力を持った国際プログラムの雇用を予定しています。

当日は、学内外から約50名が出席するなか、明治大学国際日本学部の横田雅弘教授による記念講演会と、青野学長等による「国際センター」の看板掲式、記念式

典、記念祝賀会が開催され、新しい「国際センター」の門出を祝しました。

「ワークライフバランス」
推進フォーラムを開催

医学部・歯学部附属病院は1月31日(土)、徳島県教育会館において、女性医師・看護師及び病院で働くすべての職員を対象とした「ワークライフバランス推進フォーラム―New Work & New Life―」を開催しました。

青野学長の開会挨拶の後、厚生労働省政策統括官付労働政策担当参事官室 田平浩 室長補佐及び本学の五十嵐事務局長による、ワークライフバランスに関する国の取り組み及び各種統計の紹介、女性研究者や大学経営の観点から見たワークライフバランスの考え方について基調講演がありました。

続いて、香川病院院長を座長として、医師、看護師、看護部、女性医師支援、子育て支援のそれぞれの立場から5名のパネリストが現状を紹介するパネルディスカッションが行われました。

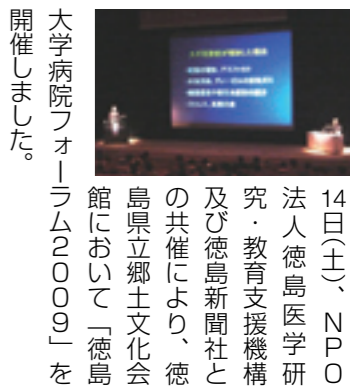
女性医師からは、働き続けられるためには病児保育や24時間保育などの整備が必要という意見があり、また、大岡看護部長からは、これまでも様々な取り組みが行われていたが、さらにWLB(生活と仕事の調和)という考え方を理解し、組織と個人のそれぞれが果たす役割が提言され、家庭と仕事を両立し、キャリアアップを実現



していくためには、種々の制度を利用するなど、具体的な方策について活発なディスカッションが行われました。

徳島大学病院
フォーラム2009を開催

医学部・歯学部附属病院は2月



14日(土)、NPO法人徳島医学研究・教育支援機構及び徳島新聞社との共催により、徳島県立郷土文化会館において「徳島大学病院フォーラム2009」を開催しました。

「アレルギーでお悩みのあなたに」をテーマとする市民公開講座を開催し、会場には、約400名の市民が参加しました。まず、香川征病院長から挨拶が行われた後に、「花粉症について」を武田憲昭耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授、「アレルギー性結膜炎について」を江川麻理子眼科病棟医長、「成人ぜんそくについて」を吾妻雅彦呼吸器・膠原病内科講師、「アトピー性皮膚炎について」を久保宣明皮膚科准教授、「金属アレルギーについて」を細木眞紀高次歯科診療部歯科用金属アレルギー部門長が講演を行い、興味深い話に参加者は耳を傾けていました。

第1回 徳島大学「地域に開かれた
教養教育市民フォーラム」を開催

全学共通教育センターは、平成20年度文部科学省質の高い大学教育推進プログラム「地域社会人ポランティアを活用した教養教育」の関連事業として、第1回 徳島大学「地域に開かれた教養教育市民フォーラム」を開催し、学生、教員、地域社会人約60名が参加しま

した。

川上博教育担当副学長の挨拶、大橋眞教授より本取組の説明の後、学生・教員・地域社会人による学びのコミュニケーションの一例として、模擬授業が行われました。

また、パネルディスカッションでは、「取組の意義」「地域に開



かれた大学に向けて」「知の循環型社会を目指して」などについて、活発な意見交換を行いました。

平成20年度康楽賞受賞者決定

平成20年度の康楽賞受賞者(教員12人、学生48人(学術研究関係24人、奨学生24人))が決定し、1月16日(金)、長井記念ホールにおいて贈与式が挙行されました。

康楽賞は、昭和26年に開始され、今回で58回目を数えるもので、本学の教員でその研究に成果のあった者並びに学生でその人物、学業成績、研究成果等が優秀である者及び学業成績が優秀で、



かつ経済的に困難である者を財団法人康楽会が毎年表彰しているものです。

式では、学長から賞状の授与、財団法人康楽会から御出席いただいた野田理事から賞金が贈与されました。また、学長並びに受賞者を代表して大学院ソシオテクノサイエンス研究部 矢野米雄教授から、財団法人康楽会に対して謝辞が述べられました。

英語教授法
ワークショップを開催

全学共通教育センターでは、全学共通教育のFD活動の一環として、徳島大学の英語授業担当教員及び徳島県内高等学校の英語授業担当教員を対象とした英語教授法ワークショップを平成21年2月12

日から14日までの3日間開催し、20名が参加しました。

講師に南イリノイ大学カーボンデール校付設英語コースのCheryl A. Ross講師を招き、「コミュニケーションで学習者の自律性を促す授業を構築する方法を学ぶ」と題してワークショップが行われ、参加者から活発な質疑応答もあり、今後の英語授業の改善等に大変有意義なものとなりました。



職員OBとOLの「絵画の部」開催

地域・国際交流プラザ(日亜会館)「ガレリア新蔵」において、日亜会館オープン3周年記念として、また、文化活動をしている職員OBと現役職員の文化的交流を図ることを目的として、「徳島大学しんくら展」を2月2日(月)~2月15日(日)に開催しました。

この展覧会は、本学の職員OB及び現役職員が余暇を活用して、趣味で制作した力作揃いの20点の絵画(油絵、水彩画、墨彩画)と絵画展示のいろどりを添えるための盆栽の協賛出展があり、大学教職員だけでなく、一般市民の方も多数訪れ、地域交流の場として大いにその開催意義を高めることができました。



お詫びと訂正

No.134(2009冬号)に掲載しました「先輩に続け」及び「新年度より総合科学部が変わります」におきまして、記載に誤りがありましたので、次のお詫びと訂正させていただきます。

- 先輩に続け
河野様の職名
- 【誤】地域課所在地員 巡査
- 【正】地域課所在地員 巡査長
- 新年度より総合科学部が変わります
図中の専攻名・学科名
- 【誤】地域環境学専攻
総合環境学専攻
- 【正】地域科学専攻
総合数理学専攻

■平成21年度徳島大学新入生歓迎合宿
4月4日(土)~4月5日(日)
徳島県立牟岐少年自然の家
問い合わせ先:学務部学務課 TEL:088-656-7086
E-mail: gksnmn4@jim.tokushima-u.ac.jp

■平成21年度徳島大学入学式
4月6日(月)10:00~
アスティとくしま
問い合わせ先:総務部秘書課 TEL:088-656-7009
E-mail: hisoumuk@jim.tokushima-u.ac.jp

■四国地区大学総合体育連盟役員会
4月23日(木)予定
常三島キャンパス
問い合わせ先:学務部学務課 TEL:088-656-7086
E-mail: gksnmn4@jim.tokushima-u.ac.jp

■徳島大学五月祭
5月16日(土)~17日(日)予定
常三島キャンパス
問い合わせ先:学務部学務課 TEL:088-656-7086
E-mail: gksnmn4@jim.tokushima-u.ac.jp

■平成21年度中国・四国地区国立大学法人等
職員採用試験 第一次試験
5月17日(日)
問い合わせ先:総務部人事課人事第一係
TEL:088-656-8601
Email: jnjin1k@jim.tokushima-u.ac.jp

■第60回四国地区大学総合体育大会 予定
5月21日(木)・23日(土)・25日(月) ラグビー
6月13日(土) 体操競技
6月26日(金)~28日(日) バスケットボール
6月27日(土) 剣道
6月27日(土)・28日(日) 水泳競技
6月29日(月)・30日(火) ダンス
体操競技、水泳競技は徳島大学が当番大学
問い合わせ先:学務部学務課 TEL:088-656-7086
E-mail: gksnmn4@jim.tokushima-u.ac.jp

■第28回卒業後教育公開講座
6月13日(土)14:00~17:00
長井記念ホール(蔵本キャンパス)
問い合わせ先:医学・歯学・薬学部等事務部総務課第三総務係
TEL:088-633-7245
E-mail: isysoumu3k@jim.tokushima-u.ac.jp

■平成21年度中国・四国地区国立大学法人等
職員採用試験 第一次試験合格発表日
6月30日(火)
問い合わせ先:総務部人事課人事第一係
TEL:088-656-8601
Email: jnjin1k@jim.tokushima-u.ac.jp